

あゆむ

あゆむ会総会と特別講演会

認知症の人とあゆむ会の総会と講演会が5月26日(木)、特別養護老人ホームアミーガはまゆりの地域交流スペースで開催されました。

総会では前年度の事業報告と収支決算、今年度の事業計画と予算案が事務局から報告され、異議なく承認されました。また、役員改選により新役員は下記の方々に決定しました。

会長：竹中 茂夫(再任)

幹事：野田 こづえ(再任)

藤野 裕子(再任)

袖林 盛(新任)

臼澤 まき子(新任：釜石市職員)

会計監査：境田 織子(再任)

事務局：上野 武夫(再任)

小山 恵(再任)

細川 進(再任)

総会に引き続き、中田薬局薬剤長の町田和敏薬剤師より、「認知症の方とご家族の方に対して



薬剤師ができること」という演題にてご講演頂きました。

薬剤師の役割として、医師からの処方に基づき、調剤を行うほか、必要な方への内服薬の一包化、薬の飲み合わせの確認、飲み忘れが多い方や処方内容が複雑な方への服薬方法の改善や管理、福祉や医療関係者との連携や情報共有など、薬剤師の業務内容についてご説明頂きました。

薬を飲み忘れる方に対して、箱やカレンダーを使い飲み易くする工夫など写真を用いたの紹介や、内服薬の飲み合わせについて、お湯の入ったコップに複数の薬を溶かした時の違いについて実際に行い「飲み合わせによっては、効果が半減する物がある」と実演を交えて説明頂きました。

最後に、「不安なことがあったら、遠慮せず話して欲しい。一人で悩まないで欲しい。」と訴え、治療や健康を維持するために、薬剤師の方々はとても頼りになる存在であると実感しました。

ミニ講座

認知症当事者の気持ち

1. 認知症の方の世界を理解する。

認知症になると何も分からなくなり不可解な行動を起こすと考えている人がいます。誰でも不安があれば、落ち着かない時があることを考えれば、認知症の方の行動は不可解でもなんでもないとと言えるでしょう。

2. 物の忘れのつらさ

誰でも物忘れはあるものの、たいてい後で思い出すことが多いです。しかし、認知症の方は思い出すことができないばかりか、そのような状況が頻繁に起こります。私達でも物忘れをした時に、不快な気分になったり不安になると同様に、認知症の方もこの物忘れが原因で不愉快で不快な日々を送っているのです。

3. できなくなったことへの悔しさ

今までできてきたことに失敗が見られるようになります。失敗もだんだん大きなものになっていきます。認知症の方も自分ができなくなっていくことには気がついており、周囲から指摘されると、悔しい思いをしたり、自信を失っていきます。これは、当事者にとって非常に悔しい体験なのだとして理解することが必要です。

4. 認知症の人への安心感を伝えましょう。

認知症の人は記憶が失われていくことは分かります。自分自身に歯がゆさや情けなさを感じています。認知症の人が安心して毎日を送れるよう、当事者の気持ちを理解して寄り添うことが大切です。それが安心感となります。

★シリーズ★ 認知症最新ニュース

平成28年6月に、警視庁が認知症、若しくは認知症が疑われる方の行方不明者が、3年連続で1万人を超えたと発表しました。昨年度は12,208人の方が行方不明となり、その内479名が死亡、150名の方がいまだ行方不明となっています。

こうしたことから警視庁は行方不明者の早期発見及び保護のため、自治体等と連携し様々な取り組みを行なっています。具体的には、地域の防犯メールや防災無線の活用、身元不明者の台帳作成などです。この他にも警察官が認知症専門講座の受講をして専門知識を高める努力をしています。

活 動 予 定

☆ つどい定例会(対象：正会員・一般介護者)

・7月20日(水) 13:30~15:00

※会場：小佐野コミュニティ3階

☆ あゆむカフェ(対象：正会員)

・8月17日(水) 13:30~15:00

※会場：小佐野コミュニティ1階

☆ 施設見学会(対象：正会員)

・9月中旬~下旬予定

見学先：未定(決まり次第お知らせ致します)